

優秀賞

Power rise

パワーライズ

学校法人新田学園  
新田青雲中等教育学校 4年(高1)

古田 桃子

「泣きなさい!!涙が枯れるまで泣きなさい。」  
母は、辛く悲しい時こそ優しい言葉を掛けずパワー全開で喝を入れる  
…それが私の母だ。

私は、学園祭種目である応援団に出場したく、応援団のオーディションを受ける決意をした。応援団は、学年問わず人気があり誰もが出場したい種目だ。オーディションまでに応援の振り付けを覚え練習に汗を流した。

いざオーディション当日…各自、精一杯の演舞を披露した。オーディション終了後、結果発表へ…合格者の名前が次々と呼ばれる中私の名前は呼ばれる事なく終わった。

皮肉にも、クラス一人の不合格者だった。

その場に居る事すら苦痛で足早に帰宅した。

その日の夜、私の携帯が鳴り響いた。

「大丈夫?次、頑張ろう…お疲れ様…」

など、友達からのメッセージが届いてきた。メッセージが届くたび、益々…惨めさや悲しさが膨らみ、素直に受け取る事が出来ない自分に腹が立った。

翌朝、重い腰を上げ学校の支度をし食卓へ。母は、一言も発する事なく黙ったまま……。食卓には、温かい味噌汁・温かいご飯・大きな卵焼きが並べてあった。

卵焼きの上にはケチャップで書かれた文字…

「笑いなさい」の力強い文字。

心がポワッと温まる食事に、涙が出てきた。無駄な会話をせずとも、母の温もりを感じた。

私は、辛い気持ちや心の痛さを知った分、人の気持ちに寄り添う心を学べ、精神的にも強く持てた気がする。

何よりも、次へのチャレンジ精神と目標を持ち、私は負けず前進して行く。

失敗した分、成功を倍にしプラスマイナスゼロに持って行く事。私は、そう決めた……。また、流す涙は嬉し涙だと心で想い笑顔でいることが、私なりの母へのプレゼントだと思ふ。

母よ。これからもパワー全開の喝を宜しく。

母よ。失敗しても失敗しても私は挫けない。だって…お母さんの娘だもん……。